

ブルアカ対魔忍Ⅱ

退魔忍

サタコ

人格排泄に堕つ

学園都市
キヴォトス

トリニティ学区
地下最深部

…ふう

お二人共
お怪我は
ありませんか？

雑兵とはいえ：
こうも連戦になると
骨が折れますね

シスターフッド隊長
対魔忍サクラコ

…今日のミネ団長の
搜索は一旦
切り上げましょうか

了解です!!

この…品性に欠ける
ユステイナ
信徒達は一体…？

……



くっ

ふざけた格好なのに
なんと強さ…

要^バ注^ラ意^ラ個^ラ体^ラ…!!



ミネさんも
こいつに…?



二人だけでも
ここから…



参ります

この力は
制御出来ないので
使いたくないのですが…
やむをえません



対魔忍サクラコ

覚悟フォーム!!

『覚悟』

です

これが
私の――







なるほど

…あの時
バルバラの陰茎を
見た途端に
全身が熱くなって

全く思考が
働かなく
なったのは…

そういう
ことだったの
ですね…

…迂闊でした



…私たちの未帰還で
他の対魔忍達も動くはず
それまで耐えれば
まだ勝機は…

…二人は
どこです

私たちは
シスターフッドの
対魔忍

普段から
拷問や調教に耐える
訓練を受けています

下賤で悪趣味な辱めに
屈したりなどしません!!



フフ…
お二人は別室で
丁重にもてなして
おりますよ…

っ…

既に常人なら
発狂死するほど
強力な媚薬が注入
されている筈ですが

…なるほど流石は
対魔忍というだけは
あるようです…♡

それなら…

「アレ」を
使いましょ…♡

3日後

準備が
終わったようです

く…っ

何をするのかと
思ったら
また媚薬とは…

芸が
ないですね…っ!!

私は退魔忍…

どのような拷問
であろうとも
屈しません…ッ

…フフ

…元来対魔忍の
肉体と光輪は

強力な神秘の力で
相互に
守りあっている…

そして対魔忍の
ヘイローはその精神と
強固に結びついており

だからこそ
強力な力を発揮できる
とされています

…それならば

その肉体から…

ヘイロー
精神を
引きはがして
しまえばいい

肉体から…
精神を……？

な…何を
言ってるのか
理解できませんが…

無駄なことはやめて
マリィ達だけでも
解放を…っ



や…っ
やめ…

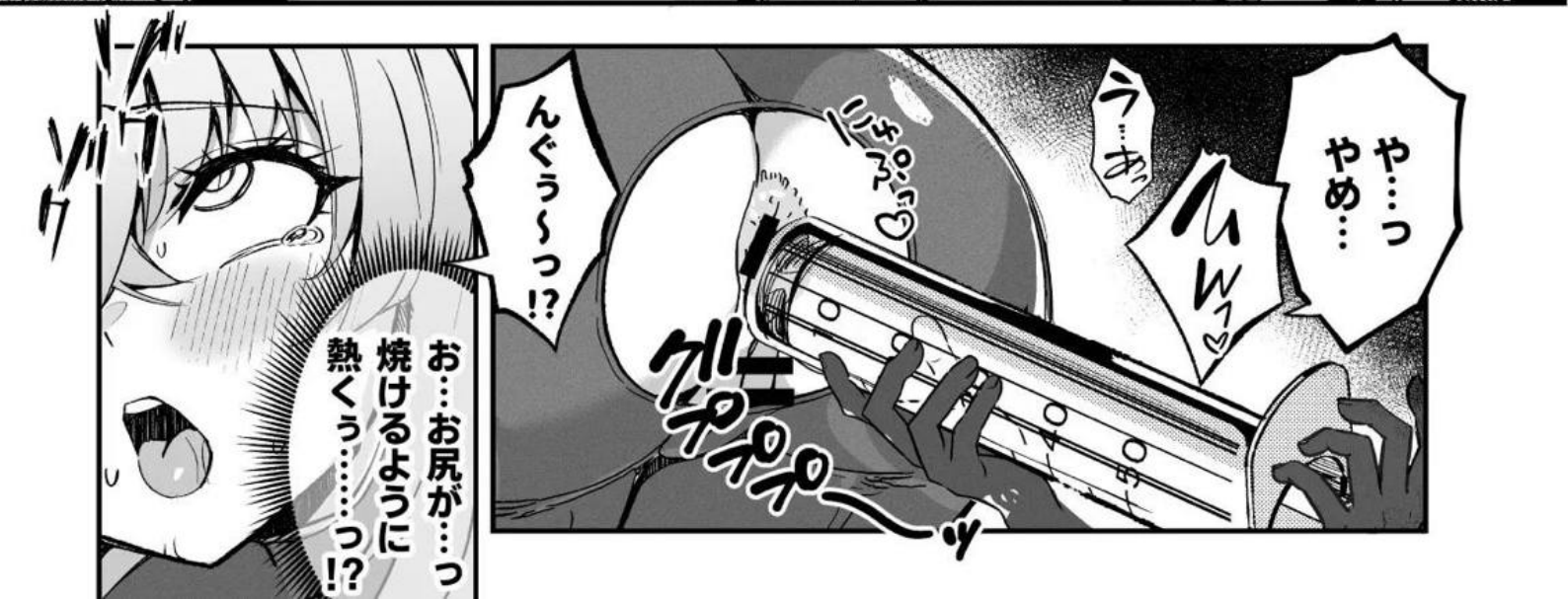
う…あ

しゅんぷん

んぐうっ!!

グニャッ

お…お尻が…っ
焼けるように
熱くう……っ!!



このスライムは
腸内で貴女の人格や
知性・精神を吸収
膨張し…もし
排泄してしまえば…

哀れで無様な
イキ肉人形へと
成り下がる……♡

っ!?

宿している神秘が
強力であればあるほど――

お…お腹が
膨らんでえ…っ!?

意識が中に
詰まってる…っ!?

スライムは
貴女の腸内で
質量を増し

――数十倍に
大きく膨む

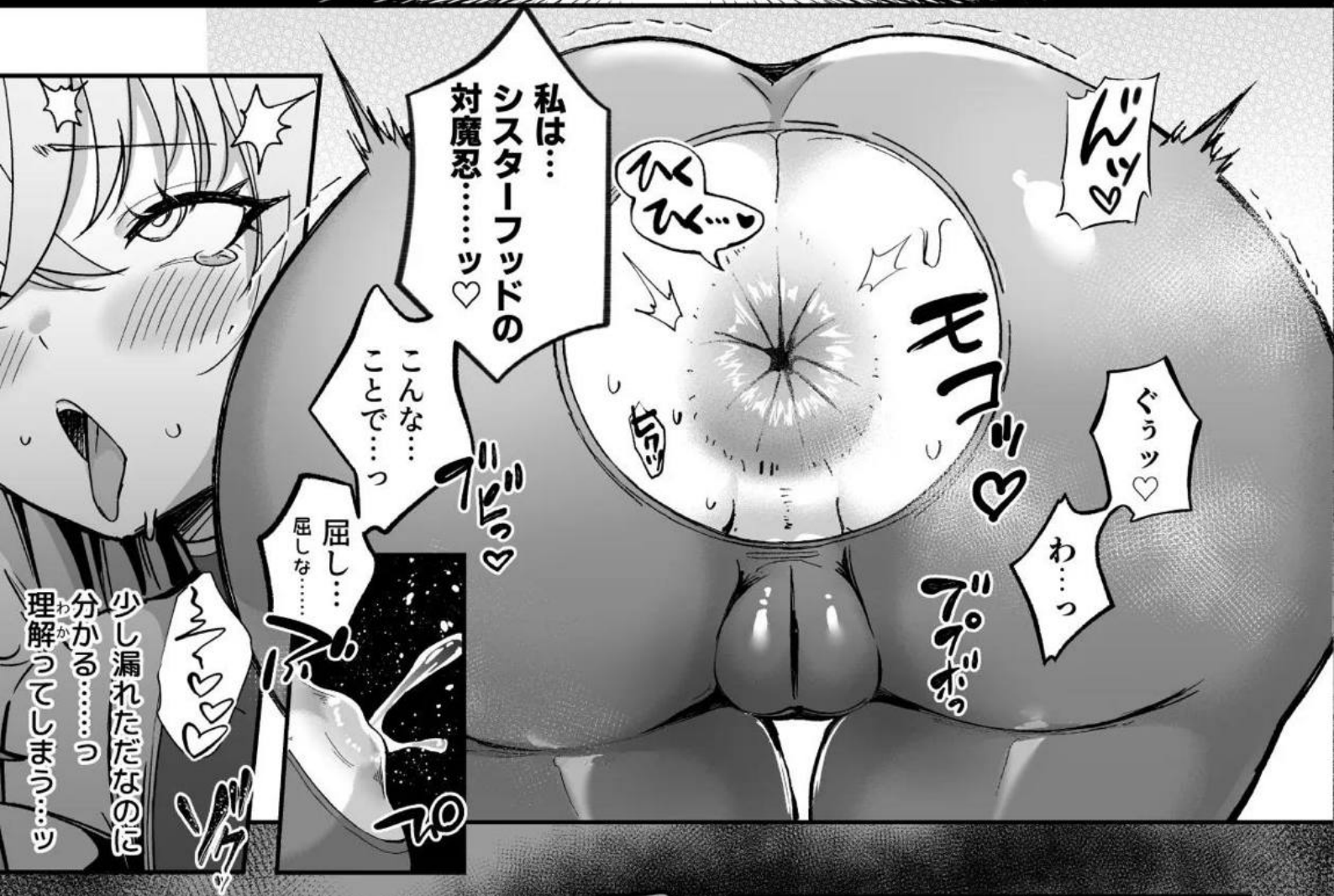
対魔忍のあなたには
効果テキメン
でしょう…♡

この時強烈な
快感を生み…

やがて快感は
最大になる

単純計算で…

”3000倍♥”





待って…!!

や…っ

だめ…
抜いて…っ!!

お尻で人格ゼリー
ぐちゃぐちゃ混ぜられるの
気持ちよすぎるっ♡



こんなの
絶対…っ♡

我慢なんて
できない…っ♡♡♡

無理です…っ♡
む…

そんな…
急に抜かれ
たら…っ

お尻から
人格うんち
ひり出してイクう…ッ!!



強力な神秘を持つ
対魔忍のヘイローは
一度の人格排泄で
完全な改造はできない…

人格ゼリーに
媚薬を混ぜ
それを肉体に戻し
また排泄させる

これを幾度となく
繰り返し行うことで
肉体とゼリーから徐々に
理性を奪い…

快楽を得ることこそが
至上の幸福であると
精神に刷り込んで
ゆくのです

か

…これより
対魔忍サクラコを
ユステイナ信徒…いえ

和

ユステイナ性奴へ
堕とす為の—

せいとしゅんれい
性徒巡礼の
儀式を行います





……何かに
容れられた…?

いや…
何かが私の中に
注がれた……

まるで
私そのものを器に
流し込まれる…ような
そんな奇妙な感覚……



身体の
拘束は無い…

腹部に
大きな異物感…

身体が熱くて…
妙に…息苦しい…



この異様な…
身体の
違和感は一体…?

ふう…
ふう…
オア

声が…
上手く
喋れない…?

私の身体…



一体何を
されて…

……っ!?



ツ……？
な……
これ……は……

私が
ユステイナ信徒に
な……て……？

いや違う…

私の精神が
ユステイナ信徒の
肉体に
入っている…!?



嫌な予感が
する……

なんとか
自分の体に
戻って

早く
マリー達を
助けに…

あれは…鏡？
なぜこんな
場所に…



…これは
私の身体では
ない……

頭では
はっきりと
理解している
はずなのに……



視界の端に揺れる
異物であるはずの
おチンポが……

こんなにも
熱く……

まるで……
生まれた時から
そこにあったように
鎮座している……

こんなことしてる
場合じゃ
ないのに……

手が無意識に
快楽を得ようと
動いてしまう……♡



このカラダの
弄り方が……

このおチンポの
キモチイイ擦り方が
全部……分かる……♡



息が
熱い——ッ♡

手が
止まらない……♡



一擦りする度思考が
おチンポ様を中心に
考えるように……♡♡

これはまるで……
祈り……？

私を構成する
大切なものを全てを
捧げているかのような……

私……この身体を
受け入れ
始めている——っ!?



だ……
ダメ……
こんなこと……♡
私は対魔忍……ッ

気を確認に
持たねば……♡



金玉に……
私の人格精液が
溜まって……っ!?

大きく膨らん
でるぅ……っ!?



もみみ♡

あ……ッ♡
コレ揉んだらすぐお……
きもちイイ……♡♡

チガウ

私ハ性徒

おチンポ様を
シコシコするのは
神へと奉げる祈り…

性徒にとって

「自然で当たり前」な
コトナノダカラ…

サア

射精しましょう♡

ああ…駄目ツ♡
漏れる…私が…

溢れるうツ♡

チンポから
自分の人格射精して
イグ……ツツ♡♡

んあゝあゝ

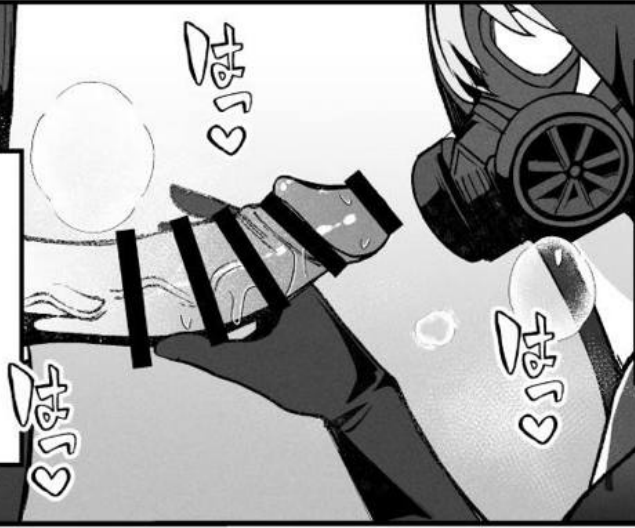
肉体は精神に
引きずられ
ていく…

精神は
肉体に…





いいな…
おチンポ♥



オイシソウ…♥



まずいと
思っているのに
目の前の
おチンポから
目が離せない…



おチンポには…

ご奉仕しなければ…♥



うほお…っ♡

お…おちんぽ

美っ味あ〜…っ♡

うほお…っ♡
お…おちんぽ
美っ味あ〜…っ♡



こんなこと…
してる場合じゃ
ないのは…♡

頭では
わかってる
ハズなのに…っ

こんなまともに
喋ることすら
できない…♡



フェラだけに
特化した
バケモノのような
器官で…っ♡

おちんぽ

目の前の
おチンポを
吸いたい欲求に
吞まれる…っ♡

おちんぽ

おちんぽ

この身体が
チンポを吸う程に
もつと…もつとど…
強制してきて…っ♡

あ…そうか…
このチンポの形…

わかった…っ♡
理解して
しまった…っ!!

目の前の
この信徒…♡
間違いなく

おちんぽ

さっきまでの

『私の身体』

なんだ…っ♡

おちんぽ

そう…
そうか…!!

このチンポが…
美味すぎる
から…ツ♥

そうです…ツ
このおチンポ様こそ
悪なのです…ツ♥

悪はワタシが
このフェエラ口で
裁く…ツ♥

30いしッ

ゴ♥チンポ

ワタシ
私は悪くない…
これこそが
私の性技…ツ♥

今のワタシは…

ズ
スト
スト
スト

おチンポをひたすら
貪るだけの

フェエラ怪人
バケモノなのだからツ♥

ド
カ
ッ

ぐ
も
も

つっ♡

はあ♡♡

はあ♡♡

わ

も

ゲームンって
美味あ…♡

それから
私は…

代わる代わる
異なる性徒の身体へ
移し替えられては…

その度に
イってイって
絶頂を繰り返した…♡

その中で
分かった事は

信徒の肉体は
ふたなりはもちろん
あのフェラ口のような

性に特化した
個体がいる
ということ

信徒の肉体により
もたらされる
強烈なまでの欲求に
抗うのは難しく…

私が私である事すら
忘れてひたすら
本能の赴くままに
快楽を貪ってしまう…

チクチン
個体

人格ゼリーを
排泄しては
別の身体へと注入…

そして絶頂

…排泄

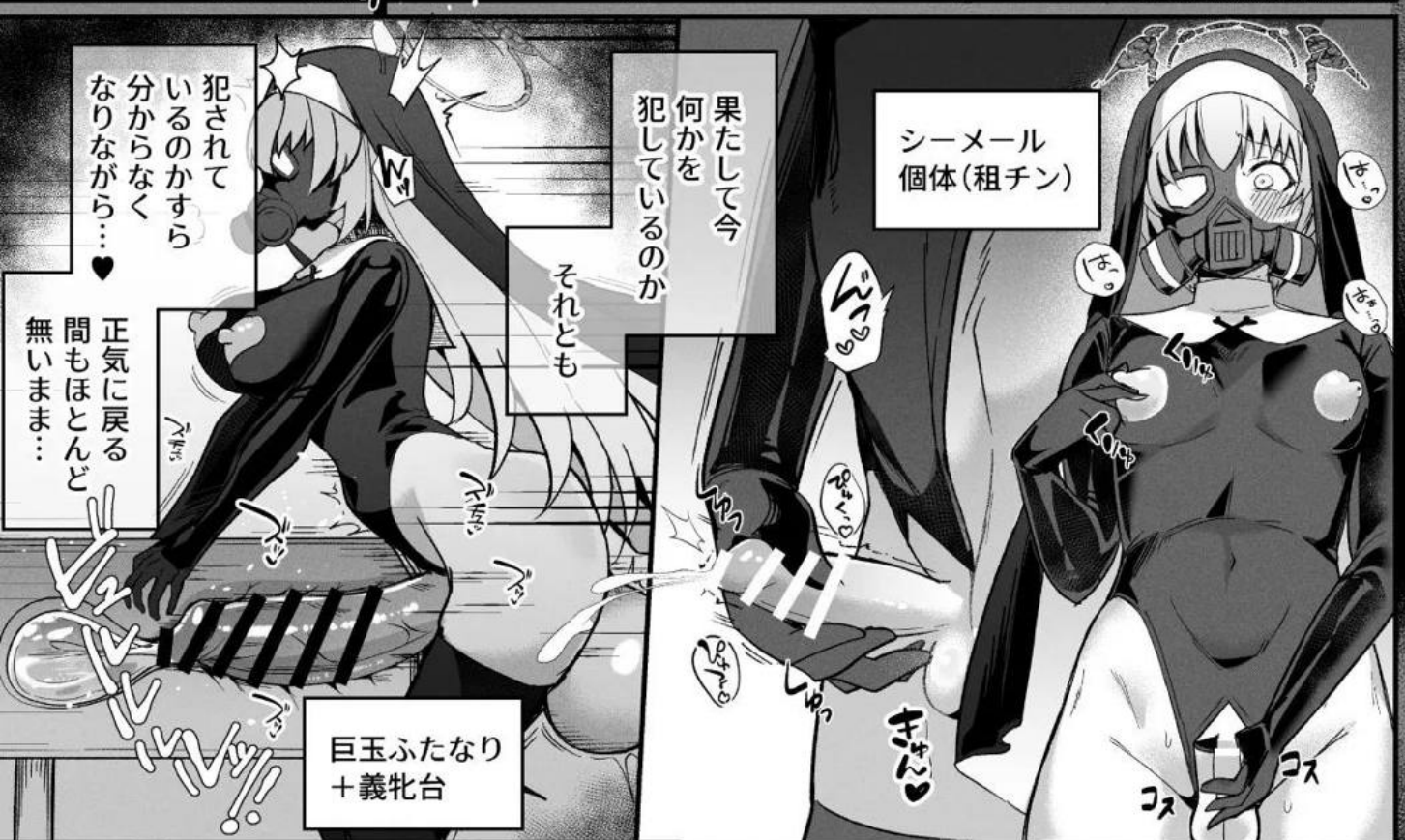




イク
絶頂…♥

また排泄…♥

注入…



シーメール
個体(租チン)

果たして今
何かを
犯しているのか

それとも

犯されて
いるのかすら
分からなく
なりながら…♥

正気に戻る
間もほとんど
無いまま…

巨玉ふたなり
+義牝台



※身も心も
身体の形状に
引っ張られてしまう

チープな
ダッチワイフ
性玩具にさえ
入れられたり
しながら

私と性徒の人格は
みるみるうちに
混ぜられていった—

おちんぼ
デイルドの形に
成形されて

別の信徒に
使われたり

時には
人格ゼリーを
オナホールや



……は……?



当たり前のよう
におまんこを
弄って……

クチュ♡



……まあ
気持ちいいから
いい……か♡

『こんな刺激』
だけじゃ全然……

モノタリナイ
物足りない……♡





フフ…
久しぶりの
ご自身のカラダは
如何ですか？

よくも私の身体を
こんな…下品な
……っ♡

おざ

アハハハッ
あはっ

すっかり下品な
雌畜のカラダに
なりましたね…♡

ああ

一つ勘違いしないで
いただきたい
のですが…

私が行ったのは
アナタの肉体に
アナタの人格を
『戻しただけ』

ヘイローも歪み
対魔忍としての
聖力も大幅に
損なわれました…♡

ユスティナ性徒達と
幾度と混ざりあい…

輝きを失った
貴女の精神が…

今のあなたには
その身体が
相応しい…

と…自ら変化を
及ぼしたのです

服まで
変化したのは私も
想定外でしたが…

アナタの
精神性がそこまで
『堕ちぶれた』という
事なのでしょうね

まあそれでも
他の対魔忍より
相当な手間が
かかりました

流石は
シスターフッドの
隊長…という
ところですか

カツ

カツ

ですが
こちらの
二人は…

!

そんな…

マリー…
ヒナタ…っ!?

既に完全な
ユステイナ信徒へと
転向済みです—

—これで
全ての準備が
整いました

次が最後の
儀式です

連れて
行きなさい



な…っ
何ですか
これは…？

アイアン・メイデン
鉄の…処女…？

そう…
これからこの
鉄と肉の檻の中で
あなたの肉体は

無数の触手に
翻られながら
バルバラのものへ
『最適化』されます

今の堕ちきった
貴女であれば

非常に上質で強力な
素体となる
でしょう—♡

…っ!!
は…
離して…っ



二人とも…っ
目を覚まして
ください…っ!!

あ…
駄目…もう…
身体に力が…♡

こんな…
終わり方…っ

誰が…っ



先生…っ



纏わりつく...

ここは...?

私の全てが
黒く溶け合って...

冷たくて
温かい...

ワタシの
隙間を満たして
いくのが

心地良イ...♡

カラダが...ココロが
あるべき姿へと
変わってイク...♡

そうか
私は...

...ワタシは
無個性ナ
メス奴隷...

メス奴隷には
名前ナド
無価値...♡

この崇高を
この快楽を
キヴォトス総テの人々へ
拡めなけれバ...♡

そう...

ソレこそが
ワタシの使命...

新たな生誕に
祝福を

私ハ
コレカラ――

性奴隷信徒

『
バル
バラ
』

井

アイ

トリニティ
礼拝堂

ユステイナ
信徒!?

そんなっ

何…あの
破廉恥な
個体は…っ!?

でっか…

負傷者の手当てと
ティーパーティー…
あとシャーレの
先生にも連絡をつ!!

非戦闘員は
速やかに避難して
くださいっ!!

く…っ
サクラコ様達も
戻られて
いないのに…っ



さあ

貴女たちにも……

ユスティナ性徒
としての祝福を
与えましょう——



BADEND 1
信徒化END

あとがき

はじめましてorお久しぶりです、奈々澄(ななすみ)です。
締切当日の朝です。

この度は「ブルアカ対魔忍II～対魔忍サクラコ～」をご購入いただき
本当にありがとうございます！

ブルアカ×対魔忍本、第2弾です。
本当は夏コミで出る予定だった本なのですが色々あって間に合わず、
準備号の形で頒布した本の完成版です。

この本は冬コミの前に出して、冬コミではブル魔忍3ミレニウム編を描きたかったのですが、
まずこっちを完成させようと思ったら冬コミのギリギリの完成になりました…
サークルカット詐欺みたいになって申し訳ありません…！

人格排泄をメインに置いたはずだったのですが、
また大分散らかった感じになった気がします…コミカルエロな対魔忍が描きたくて
描き始めたはずなのに…おかしいなあ!?

時間をかけ過ぎるとこれ面白いのか、エロイのか分からなくなってしまいがち…
自分の描いた漫画の中では過去最大のページ数になりました…！
ページ数だけ見るとほぼ倍なので、作業量も倍です！大変！

今回は今までと違うトーンではなくグレスケでの仕上げをしてみたのですが、
慣れてないことと、いくらでも手が付けられてしまうので完成が分からず
想定以上に工数がかかってしまいました…次はトーンに戻そうかな？
ミレニウム編までは描きたいなあ…
今回のバキュームベッドアクリルスタンドはユウカなんですけど、
新刊とアクスタのキャラがズレてしまっているのはちょっと嫌なので次は何とかしたい…！

2026年も色々予定が決まってはいるのですが、
趣味の絵や新刊もお届けできるように頑張ります！
それではまたどこかで…！

□奥付□

「ブルアカ対魔忍2 ～対魔忍サクラコ～ 人格排泄に堕つ」

初版発行日：2025/12/30 コミックマーケット107

サークル名：Pantie Party Project

発行者：奈々澄

TwitterID: nanashinanasumi

PixivID: 203594

印刷：有限会社 金沢印刷様

Twitter(現X)

Fantia

Pixiv



■18歳未満の閲覧および購入を禁止します。
■本書の複製・無断転載・アップロードを禁止いたします。

PantiePartyProject

